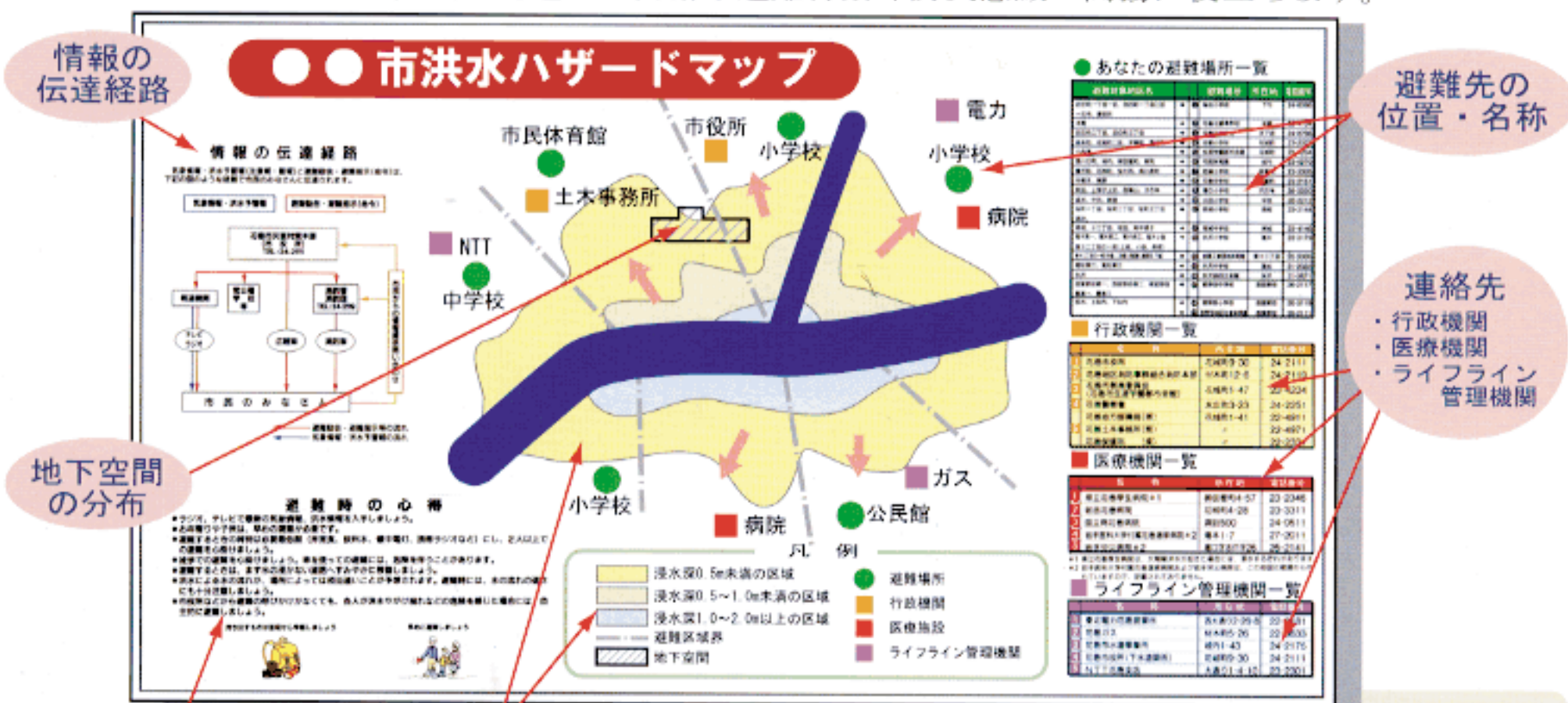


水防法の改正により推進される水災対策

洪水ハザードマップ

浸水想定区域や避難場所などを住民に分かりやすく示した『洪水ハザードマップ』は、災害時における住民の迅速かつ円滑な避難行動や防災意識の高揚に役立ちます。

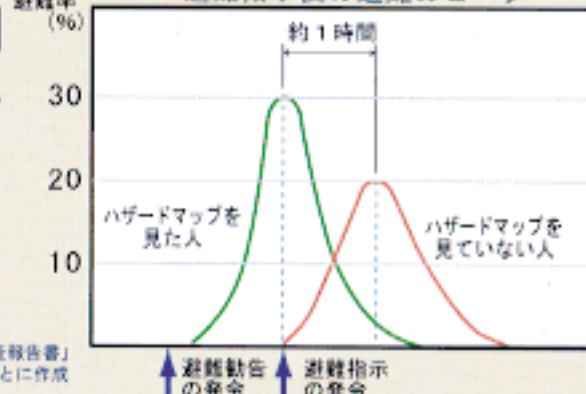


洪水ハザードマップの効果

平成10年8月末の郡山市を中心とした豪雨災害では、ハザードマップにより避難開始時期が早まる効果が認められています。

出典：群馬大学工学部 片田研究室
「平成10年8月末豪雨中郡山市における郡山市民の対応行動に関する調査報告書」を基に作成

避難指示後の避難のピーク



中小河川における洪水予報の実施等

中小河川においても洪水予報を実施することにより、的確な避難措置が可能になります。又、浸水想定区域の公表等により洪水ハザードマップの作成が促進されます。

地下空間における浸水対策の促進

浸水想定区域内における地下街に対する洪水予報の伝達が的確に行われることをはじめとして、地下空間における浸水対策が促進されます。

